

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2004-26222(P2004-26222A)

【公開日】平成16年1月29日(2004.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-004

【出願番号】特願2002-185086(P2002-185086)

【国際特許分類第7版】

B 6 5 D 53/00

B 3 2 B 27/28

B 3 2 B 27/32

B 3 2 B 27/36

B 6 5 D 65/40

B 6 5 D 77/20

【F I】

B 6 5 D 53/00 B R Q A

B 3 2 B 27/28 1 0 1

B 3 2 B 27/32 C

B 3 2 B 27/36

B 6 5 D 65/40 Z B P D

B 6 5 D 77/20 M

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月8日(2005.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外周縁に開封用タブを有し、容器開口部を密封するための積層体からなる蓋材であって、前記積層体は、最外層をポリエステル系フィルムとし、最内層をポリオレフィン系樹脂、エチレン酢酸ビニル共重合樹脂およびエチレンアクリル酸共重合樹脂よりなる群から選ばれた1以上の樹脂を主成分とする樹脂層とし、中間層を厚みが10~40μmであるポリ乳酸系フィルムとし、これらが積層されてなることを特徴とする蓋材。

【請求項2】

ポリ乳酸系フィルムの少なくとも片面に、金属および/または金属酸化物からなる層を設けた請求項1に記載の蓋材。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記課題を達成するために、本発明のポリ乳酸系フィルムを用いた蓋材は主として次の構成を有する。すなわち、

外周縁に開封用タブを有し、容器開口部を密封するための積層体からなる蓋材であって

、前記積層体は、最外層をポリエステル系フィルムとし、最内層をポリオレフィン系樹脂、エチレン酢酸ビニル共重合樹脂およびエチレンアクリル酸共重合樹脂よりなる群から選ばれた1以上の樹脂を主成分とする樹脂層とし、中間層を厚さが10～40μmであるポリ乳酸系フィルムとし、これらが積層されてなることを特徴とする蓋材である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明の蓋材において、ポリ乳酸系フィルムの少なくとも片面に、金属および/または金属酸化物からなる層を設けたことが好ましい態様である。